

## 名古屋大学大学院理学研究科理学専攻・特任講師/特任助教公募

名古屋大学大学院理学研究科理学専攻物理学教室では、下記の要領で特任講師又は特任助教を公募します。

1. 募集職種：特任講師又は特任助教，若干名

2. 勤務地：

(雇入れ直後)

名古屋大学大学院理学研究科理学専攻物理学第二講座 天体物理学研究室（愛知県名古屋市千種区不老町）

(変更の範囲)

東海国立大学機構が指定する就業場所

3. 専門分野：観測天文学，銀河天文学，観測的宇宙論

4. 職務内容：

(雇入れ直後)

名古屋大学天体物理学研究室では、天体形成の理解を目的とし早期宇宙から銀河系内に至る観測天文学を推進しています。また、将来のサブミリ波天文学の発展に寄与する開発研究を行っています。本公募では、科学研究費補助金 基盤研究 (S)「遠赤外線微細構造輝線で切り拓く前・宇宙再電離期の銀河形成」(研究代表者：田村陽一)、及び国際共同研究加速基金(国際先導研究)「超伝導工学・大規模数値計算・データ科学で解明する宇宙最初期の重元素生成過程」、特別推進研究「集積超伝導分光器技術とデータ科学で切り拓くサブミリ波輝線強度マッピングの新展開」(研究代表者：河野孝太郎)に関する、下記のいずれか又は複数の研究業務を行う特任講師又は特任助教若干名を求めます。

(1) サブミリ波及び赤外線を用いた遠方銀河の観測的研究。

(2) 高赤方偏移銀河の分光探査を可能にするミリ波・サブミリ波受信システム FINER 計画

(<https://finerreceiver.github.io/ja/>) の推進，特に大型ミリ波望遠鏡 LMT での科学評価に従事。

(3) TIFUUN 計画 (<https://sites.google.com/view/sublime-tifuun>) の推進，特にデータ解析及びサブミリ波望遠鏡 ASTE での科学評価に従事。

採用する特任講師又は特任助教には、上記いずれか一つの項目に関する実績を持つことを求めます。

(変更の範囲)

東海国立大学機構が指定する業務

5. 任期：

特任講師：2025年5月1日～2026年3月31日

特任助教：2025年4月1日～2026年3月31日

ただし、更新基準に基づく評価のうえ(業務処理、判断・対応、責任感、勤務態度、協調性、法令規程等の遵守及び法人の予算、業務量等により判断)、年度ごとに更新する可能性があります。更新する場合、最長2029年3月31日まで、最終雇用年齢は65歳に達した年の3月31日までとします。

6. 応募資格：博士の学位を有する者(2025年3月までに取得見込み可)

7. 待遇：東海国立大学機構（以下「機構」という）職員就業規則の定めによるほか、給与は機構において定める年俸制が適用される。

8. 加入保険：文部科学省共済組合（健康保険，厚生年金），雇用保険，労災保険

9. 応募締切：2025年1月6日（月）12:00 必着

10. 提出書類：

- (1) 履歴書（連絡先を明記すること）
- (2) これまでの研究業績の概要
- (3) 業績リスト（査読有無の別を明記すること）
- (4) 主要論文別刷（3編以内）
- (5) 着任後の研究計画と抱負
- (6) 応募者本人について意見を聞ける方の氏名・連絡先（2名程度）

現在、諸外国から給与や奨学金を受けている場合は、以下も併せてご提出下さい。

- (7) 類型該当性の自己申告書（[https://www.sci.nagoya-u.ac.jp/facilities\\_use/files/](https://www.sci.nagoya-u.ac.jp/facilities_use/files/)より様式1を取得下さい）

11. 提出方法：上記の提出書類を1つのPDFにまとめて、電子メールでご提出下さい。ファイルサイズが大きい場合は、書類をダウンロードするURLをお送り下さい。

12. 提出先及び問合せ先：

〒464-8602 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学 大学院理学研究科 物理学教室  
教授 田村陽一  
電子メール：ytamura@nagoya-u.jp  
電話：052-789-2846